

ナガセヴィータ株式会社(旧社名:林原)

おかやまSDGs ACTION



- 健康寿命延伸への貢献
- 安定的な食料確保
- 社員エンゲージメントの向上
- 環境負荷の低減



より詳しい情報は
公式HPから

二〇二四年十一月、次世代を担う子どもたちに向けた共創プロジェクト「SCHOOL OF FOOD」が岡山市で開催された。「食」を楽しく学ぶ「コンセプト」につながる「育てる」「食べる」「運ぶ」の四つのテーマに分かれて、食育プログラムが行なわれた。「育てる」の授業では、チョコレート原料・カカオ豆に触って香りがかいだ子から「酸っぱい匂いがする!」と声が。手間暇かかる生産方法を教わり、

出来上がったチョコレートを味わった。「つながる」のブースでは、世界の給食や学校給食支援活動への理解を深め、ひとり一人が世界の飢餓問題に貢献できることを実感。日々の行動が、よりよい未来の実現につながることに気づいた子どもたちもいたようだ。

イベントを開催したのは、二〇二四年四月に『林原』から社名を変更した『ナガセヴィータ(Nagase Vitta)』。新社名の「Vitta」は、事業テーマである「生命、暮らし」を表すラテン語「Vita」に、「i」を加えた造語。「ii」は生命が寄り添う姿を表し、人と自然が共生するサステナブルな未来を共創したいという思いを込めている。そして同時に策定したのが、会社の存在意義を表すパーパス「生命に寄り添い、人と地球の幸せを支える」である。そこには、「長く培ってきたバイオ技術を生かしてさまざまな社会課題の解決に貢献したい」という志を反映。健やかに暮らすための素材や技術を提供する「健康寿命延伸への貢献」をはじめ、食品ロス低減と食資源の生産性向上に努める「安定的な食料確保」、多種多様な社員が能力を発揮できる職場づくりを目指す「社員エンゲージメントの向上」、CO₂排出やエネルギー消費の削減を推進する「環境負荷の低減」の四つのマテリアリティ(重要課題)を定めて、サステナビリティ活動に真摯に取り組んできた。

「食にまつわる話題を知ることで、社会が直面する食料問題や環境負荷にも意識を向けるきっかけになれば嬉しいです」と同社の宗友部長。人と自然が真に共生する未来を目指し、挑戦を続ける同社の取り組みに注目したい。



1. 知って、触れて、食べる体験をする子どもたち。 2. 「ナガセヴィータ」のブースで世界の給食を当てるクイズを実施。 3. 共創先「カカオハンターズ」の授業では、チョコレートの原料・カカオ豆の原産地や生産者の思いなどを聞いた。 4. 共創先「omoや545」の授業でアレルギーを知り、誰もが安心しておいしく食べられることの大切さを学んだ。 5. 共創先「岡田商運」のブースでは、食品などを運ぶ流通過程の展示やトラック運転席での記念撮影も。


未来を築く子どもたちに向けて、食を多角的に学べる「共創」プロジェクト。



「ナガセヴィータまつり」の会場の一角で行なわれた「SCHOOL OF FOOD」。食にまつわるテーマごとに、子どもたちが楽しく遊びながら学べる場を提供していた。

TOPICS さまざまな社会貢献活動でよりよい社会の実現に貢献。

「ナガセヴィータ」(旧社名:林原)は事業活動と社会貢献活動の両輪で、よりよい社会の実現を目指している。林原美術館の運営支援や産官連携の健康寿命延伸イベント「岡山ウェルネス」の開催に加え、地域のスポーツ・文化の振興を願い、ファジアーノ岡山や岡山フィルハーモニック管弦楽団に協賛。また、「WFP国際連合世界食糧計画」や災害復興などへも支援を行なっている。




【問合せ】
ナガセヴィータ株式会社(旧社名:林原)
岡山市北区下石井1-1-3 日本生命岡山
第二ビル新館 ☎086-224-4311